

内視鏡治療の普及に伴い、その適応拡大が検討されている中で、未分化型癌に関しては適応とされる微小病変の臨床診断例が依然として少ないために EMR 症例数はほとんど伸びていない。そうした現状が長南の論文に示されている。本誌ではこれまでに 4 回ほど微小・小胃癌の特集を組んでいるが、どの施設の成績をみても胃癌全体では分化型と未分化型の比率にほとんど差がないのに微小・小胃癌になるとなぜか未分化型の割合は 20% 以下と極端に低率になっている。そこで本号ではその理由をあらためて問うことにしたわけである。執筆者はそれぞれの視点から興味深い分析を加えている。臨床の側から、測上、大山は未分化型の微小・小胃癌が少ない主な理由として、癌の組織発生の点からみても 50 歳以上の癌年齢の胃では胃固有腺粘膜の退縮により未分化型癌が発生しにくい条件に変化していることに加えて、5

mm 以下の病変では約 50% が肉眼的に識別不能な IIb 型で、しかも発生部位が C 領域から M 領域の胃底腺粘膜に好発するため臨床的に発見が難しいことを挙げている。西俣は未分化型癌の発生様式の特徴から 30 mm 以上の病変に比べて微小病変が少ない理由を論じている。一方、病理の石黒、松田は純粋な未分化型癌は元来、発生頻度が分化型に比べて低く、胃癌全体で分化型と未分化型がほぼ同率になるのは分化型のうちの胃型腺管形成性癌(石黒)あるいは胃型形質癌(松田)が発育進展の過程で未分化型化するためであろうと推論している。そして、松田によればこの未分化型化は、5~10 mm の病変でも既に 3.4% 認められるという。以上のような様々な角度からの分析により、読者にも小さな未分化型癌が少ない理由を理解し、納得していただけたのではあるまいか。

胃と腸

12月号(第31巻・第13号) 予告

発売予定 12月25日
定 価 2,060円(税込)

主題／大腸腫瘍の自然史

序 説	大腸腫瘍の自然史	東大・1外	武 藤 徹一郎
主 題	retrospective にみた大腸腫瘍の自然史	国立がんセンター中央病院・放射線診断部	牛尾 恭輔・他
	retrospective にみた大腸癌の発育経過—PG 癌と NPG 癌の初発病変の形態	福岡大筑紫病院・消化器科	松井 敏幸・他
	大腸癌の自然史	東京都がん検診センター	西沢 護・他
	prospective にみた表面型大腸腫瘍の自然史	旭川医大・3内	渡 二郎・他
	大腸腺腫の経過例についての検討	秋田赤十字病院・胃腸センター	工藤 進英・他
	大腸 sm 癌からみた大腸癌の自然史	慈恵医大・病理	池上 雅博・他
	大腸腫瘍の組織構築と発育進展様式	九大・2病理	八尾 隆史・他
	病理組織学からみた大腸腫瘍の自然史	新潟大・1病理	松田 圭二・他
	大腸腫瘍の自然史—大腸癌研究会の報告からの検討	東大・1外	正木 忠彦・他
座 談 会	大腸腫瘍の自然史を語る	福岡大筑紫病院・消化器科	八尾 恒良・他
今月の症例	直腸型 Crohn 病の1例	福岡大筑紫病院・消化器科	櫻井 俊弘・他
リフレッシュ講座	〈膵管像の読み方④〉膵癌の膵管像(2)	県立がんセンター新潟病院・内科	小 越 和 栄

胃 と 腸 (第31巻 第12号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1996年11月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 2,060円(本体 2,000円)(配送料 124円)

1996年 年々ぎめ予約購読料 28,000円(本体 27,184円)

(増刊号 4,120円を含む 13冊)(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1996, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3401-2382)の許諾を得てください。

(担当) 棚兼・小松原・湯原・江口・長谷川